

学校法人睦学園  
兵庫大学短期大学部  
機関別評価結果

平成22年3月18日  
財団法人短期大学基準協会

## 兵庫大学短期大学部の概要

設置者	学校法人 睦学園
理事長名	渡邊 東
学長名	三浦 隆則
ALO	笹田 哲男
開設年月日	昭和30年4月1日
所在地	兵庫県加古川市平岡町新在家2301

### 設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
保育科第一部		150
保育科第三部		80
美術デザイン学科第一部		10
	合計	240

### 専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	保育専攻	40
	合計	40

### 通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

兵庫大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 22 年 3 月 18 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 20 年 7 月 28 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

学園創立以来の建学の精神と教育理念を堅持し、学内外に明示しその共有と周知に努めている。教育目的・教育目標は、冊子『教育方針』としてまとめ学内外に配布している。

各学科の教育課程は体系的に編成されており、短期大学にふさわしい内容とレベルを有しており、免許・資格等の取得にも配慮がなされている。各学科・専攻科は、短期大学設置基準の教員数を満たし、図書館等の各施設の整備状況も良好である。

学生の単位取得及び成績評価は適切に行われており、教員は授業に対する学生の満足度に配慮し授業改善を図りながら教育目標の達成に努力している。退学、休学、留年等の状況も妥当な範囲にある。学生支援についても多様な経済的支援制度が用意されている。専門職への就職率も高く、卒業後の支援も積極的である。

教員の研究条件は整備されており、独自の配慮もなされている。また、社会的活動は併設大学と共に産官学連携等に努めており、生涯学習の拠点として地域に貢献している。

理事会をはじめとする学校法人組織、教授会・各種委員会等の教学部門、教育活動を支援する事務部門は、それぞれ整備されており管理運営体制が確立している。予算の策定、執行及び出納業務は、所定の手続きを経て適正に遂行されている。財務情報も公開されている。財政中期計画を立て、財政上の諸改革を策定し実行している。

改善・改革については、併設四年制大学と共に全学的かつ組織的な取り組みに発展させ、その成果を教育目標や教育内容についての再確認、各委員会組織の整備、シラバスの充実、ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動の展開等に活用するなど積極的に取り組んでいる。

### 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加

え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実を図る観点から、本協会は以下の見解を持つ。

### （１）特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

#### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 「新統合 HUMANS 教育研究用学内ネットワークシステム」の高速ウェブシステムが整備されており、講義資料、文献、各種資料を図書館との連携により効果的に活用して、教育活動、研究活動、学生指導に総合的に役立てている。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- 学生が学生生活における改善要望を自由に申し出ることができる「CR 委員会（キャンパスリフォーム委員会）」が設置されており、その内容と対応については後日学内掲示によって公表されている。
- 学生に対し、「むつみ奨学金」、「給付奨学金」及び関連の助成財団の奨学金のほか、学生貸出金制度など多様な経済的支援制度が用意されている。

#### 評価領域Ⅵ 研究

- 研究支援推進委員会を設置し、研究環境の整備・向上に取り組み、個人研究費のほかに、独自の研究プロジェクトへの財政支援を行っている。

#### 評価領域Ⅷ 管理運営

- 当該短期大学及び併設四年制大学全体の教学面の審議・決定機関である大学運営会議が、短期大学における教育方針等、重要な優先課題の審議・決定を行っており、教授会や各種委員会との連携を図りながら、それぞれの教育実践や教育目標達成のスピードアップに寄与している。

### （２）向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

#### 評価領域Ⅸ 財務

- 現在施行中の「第 6 次財政中期計画」の継続と確実な遂行を目指し、各年度の収支バ

ランスの改善を図り、累積赤字（繰越消費支出超過額）の削減に努められたい。

**（３）早急に改善を要すると判断される事項**

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

### 3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ 教育の内容	合
評価領域Ⅲ 教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ 学生支援	合
評価領域Ⅵ 研究	合
評価領域Ⅶ 社会的活動	合
評価領域Ⅷ 管理運営	合
評価領域Ⅸ 財務	合
評価領域Ⅹ 改革・改善	合

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

学園創立以来、聖徳太子が唱える「和」の心を建学の精神として継承しており、それを土台とした教育理念を各学科の教育課程や各種学校行事等において具現化し、ウェブサイト、短期大学案内、学生便覧、各種広報誌等において明示し周知に努めている。学科ごとの教育目的や教育目標等は、冊子『教育方針』として作成・配布し、学内外に対してそれらの共有を図っている。教育実践の全般については、自己点検実施委員会による総点検が行われ、その結果は定期的に報告書の形で公表されている。また、新入生に対しては、入学時のオリエンテーションなどにおいて、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標等の理解と共有に努め、その周知・徹底を図っている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

各学科の教育課程は、建学の精神・教育理念に基づき、体系的に編成されており、それぞれの授業は短期大学にふさわしい内容とレベルを有している。また、免許・資格及び各種受験資格が取得できるようにも配慮がなされており、学生の多様なニーズにこたえるものとなっている。授業形態、必修・選択のバランス、選択の自由度、クラス規模、卒業要件等も適切であり、シラバスは、評価の方法や教科書・参考文献の紹介等が明確に記載されており、授業開始前に配布され、有効に活用されている。学生による授業評価が定期的に行われ、その結果は授業改善のために用いられ成果をあげている。

#### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

設置する学科・専攻は、短期大学設置基準の教員数を満たしており、教員は、短期大学の教員にふさわしい資格と資質を有している。校地・校舎等の面積は、短期大学設置基準を満たしており、情報機器等を設置した各種教室等の運用・整備システムも確立している。また、校地・校舎は安全性に配慮し、障がい者にも対応したものとなっている。図書館や自習室には、図書、AV 資料等が十分に備えられており、司書や図書検索システムなどのサービスも整備されている。

#### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

学生の単位取得は円滑に行われており、教員による成績評価も適切に行われている。教員は授業に対する学生の満足度に配慮し、授業改善を図りながら教育目標達成のために効果をあげている。退学、休学、留年等の状況も、妥当な範囲にあり、それらの学生に対するケアも十分に行われている。保育科においては、資格取得への取り組みの努力やその実績も十分であり、専門就職の割合も高い。卒業生の就職先からの評価についての意見聴取、教育の実績や効果を確認するための卒業生との情報交換の場の確保及び同窓会との連携に努めており、積極的な卒業後評価への取り組みが認められる。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

入学前教育として各学科は独自に「フォローアッププログラム」を実施し専門教育への導入を行っており、入学後のオリエンテーション期間中には、宿泊研修「フレッシュマンキャンプ」において、入学生の短期大学生生活全般への円滑なスタートを支援している。学期始めのオリエンテーションにおいては、単位の履修方法や科目選択についての確認を行っており、学生個々の様々な情報が記録されている「学修支援シート」は、各種学生指導に活用されている。外部奨学金制度のほか、「学費サポートプラン（奨学ローン制度）」など、学生への多様な経済的支援制度が用意されている。就職については、教職ガイダンス、学内企業説明会等による支援を行い、高い就職率を維持している。また、学生が学生生活における改善要望や提案事項等について、学長を中心とする「CR 委員会（キャンパスリフォーム委員会）」に直接申し出ることができ、その内容及び短期大学側の対応が後日学内掲示において公表されるシステムを構築している。

#### 評価領域Ⅵ 研究

「個人研究費研究活動報告書」及び「教員プロフィール」を作成し、各教員の研究活動、業績を公開している。また、研究紀要『兵庫大学短期大学部研究集録』の発行と全国の大学・短期大学等への配布も行われている。教員の研究に係る経費、経費規程、紀要等の発行、機器・備品・図書、研究時間の確保等について十分整備されている。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

社会的活動の意義を、社会貢献及び教育研究の拡張と位置付け、生涯学習、産官学連携等に努めている。また、社会の変化、地域社会のニーズに応じて、公開講座、科目等履修生制度、社会人入試等を制度化し、生涯学習の拠点大学として地域に貢献している。さらに、高大連携、地元町内会との連携、その他地域との懇談会など、各種の交流活動を行っている。各種ボランティアの募集・仲介、県・市・町が企画するイベントへの参加等、地域社会への貢献は十分なされており、その活動を奨励するシステムも整備されている。

#### 評価領域Ⅷ 管理運営

私立学校法及び学校法人の寄附行為に基づき、理事会、監事、評議員会はそれぞれの任務を適切に果たしており、学校法人全体の管理運営の体制は確立されている。また、大学教育全体の教学面の審議・決定機関である「大学運営会議」が、短期大学における教育方針等、重要な優先課題の審議・決定を行っており、併設四年制大学の大学長を兼ねる学長が議長を務め、短期大学の教育活動全般にわたってリーダーシップを発揮できる体制が構築されている。教授会、各委員会の運営についても組織的に確立されて適切に運営されており、教育活動を支援する事務組織とその業務の執行体制も適切に整備されている。また、学内における教員と事務職員との連携は良好である。

#### 評価領域Ⅸ 財務

平成 20 年度において学校法人全体、短期大学部門ともに支出超過となっており、負債もあり、流動比率も低い。現在、学園の「第 6 次財政中期計画」に基づき、財政再建のための最重要課題として人件費比率の適正化を図るべく人事制度改革等の財政上の諸改革を策定し実行している。事業計画及び予算は、理事会、評議員会等において審議・決定され、適切に執行されている。財務・経理・出納の各業務は、定められた承認手続きによって適正かつ円滑に行われている。基本資産及び運用財産中の積立金の保有と運用については、「資産の運用に関する取扱規則」によりその取り扱いの基準及び方法を定め、安全かつ適正に管理・運用している。公認会計士と監事による監査業務の打ち合わせも実施しており、計算書類・財産目録等は適正に表示されている。教育研究経費比率は適切であり、施設設備の整備、管理も適正に行われており、財務情報の公開も適切に実施している。

#### 評価領域Ⅹ 改革・改善

当該短期大学及び併設四年制大学全体の教学面の審議・決定機関である「大学運営会議」のメンバーが中心の自己点検実施委員会は、規程も整備され、その成果の公表も行ってきたが、今回の認証評価に対する取り組みの中で、自己点検・評価報告書の作成等において各学科長や部・課長等が担当するなど、多数の教職員がかかわる全学的かつ組織的な取り組みに発展した。授業改善等においても、「学生による授業改善アンケート」の結果を公表し教員相互で問題点の共有を図り、授業の内容や教授方法の改善のために活用している。また、第三者評価（認証評価）に先立ち、淑徳短期大学との相互評価を行い、その成果を教

育目標や教育内容についての再確認、各委員会組織の整備、シラバスの充実、FD 活動の展開等に活用するなど、自己点検・評価活動に対して全学的に取り組む積極的な姿勢が認められる。